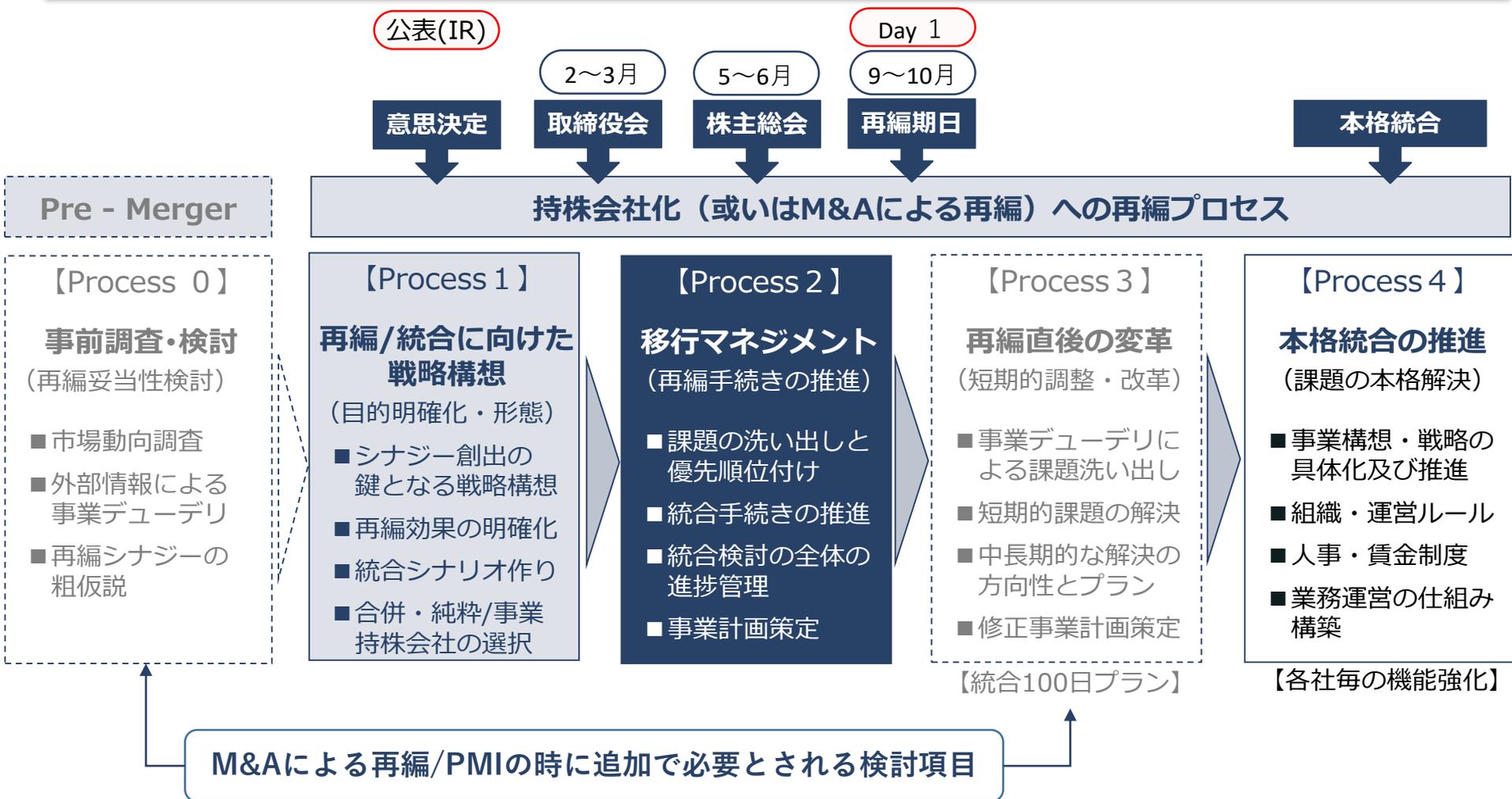


- 持株会社化（或いはM&Aに係る再編）に向けては4つのプロセスがあり、戦略構想の後半～移行マネジメントについては、「各種制度設計」と「再編手続き」を「期限どおり」に「着実」に推進し、再編を成功に導いていくことが必要です。
- そのために、各ステージで必要とされるプロセスを鳥瞰したうえで「マスタープランを策定」し、Day 1に向けて限られた期間内に再編手続き（移行マネジメント）を着実に履行することが重要となります。



- 持株会社化のための検討領域は幅広いため、持株会社化の目的やねらいをしっかりと固めた上での検討が必要です。
- 組織設計やグループ経営体制の構築、加えて法的手続きの確実な実施と、複雑かつ性質の異なる項目が輻輳するのが特徴。

## 持株会社化の選択 (=目的・ねらいの明確化)

### I. グループ経営体制の制度設計

1. 持株会社／事業会社の役割分担・体制設計

2. グループガバナンスの設計

3. 統合効果を見込んだ事業戦略の修正

**「制度設計」**  
(組織・戦略・業務・人事・システム)

### II. 持株会社化に係る再編手続き

1. (分割・吸収合併に関する)  
事業・資産・人・資金等の「切り分け」

2. (分割・吸収合併に関する)  
各種法的手続きの確実な実施

3. (分割・吸収合併に伴う)  
各種制度・業務の見直し作業

**「再編手続き」**  
(法務・税務・会計)



プロジェクトマネジメント力で  
課題を解決する  
専従・常駐スタイル

組織・戦略・人事・システム等の  
経営課題に精通した  
ゼネラルコンサルタント

再編に向けた検討項目を洗出しマスタープランを策定し、プロジェクトを管理

各種論点に関する判断材料の提示及びディスカッションにより解決の方向性を提示

プロジェクトの会議体及び分科会の設計及び運営・事務局機能

関連資料の雛形作成及び各専門家との調整による「仲介・通訳者」としての機能

常駐・専従によりプロジェクト進捗状況に応じた柔軟な対応

持株会社化やM&A等の再編プロジェクトを成功に導きます